

2025 年度「スポット助成」申請用紙記入の手引き（記入例）

企画名と支援希望額

支援を希望する企画の名称と、支援希望額（＝【3.申請金額内訳】の「申請額合計」）を記入します。

★確認ポイント：「支援希望額」は3.の「申請額合計」と同じ金額になっていますか？

1. 申請者概要：

団体か個人かを選択し、申請者氏名（個人の場合は本人、団体の場合は本申請に関する責任者）と連絡担当者名・連絡先を記入します。団体の場合、団体名称・団体代表者名・団体所在地についても記載してください。

★確認ポイント：連絡先に記入漏れはありませんか？

2. 申請概要：

助成金を充当する企画の全体像を説明してください。Aには企画の焦点となる環境課題を簡潔に整理し、Bには企画の具体的な内容（何を行なうか、実施地域、イベントの場合は時期と参加者のターゲット層や人数など）について独自性を盛り込んで記述し、C～Eでは各側面から企画の戦略となるポイントを説明してください。記入欄が小さい場合には、枠を拡大してかまいません。

記入例：

A) 企画の焦点となる環境課題は何ですか？

●●県××市の環境汚染の状況が悪化している。特に〇〇年より、家庭や工場排水、農業によって河川の水質が悪化し、電力ダムの影響で海岸が浸食されたために、海砂の過剰採取で海流が乱れ、隣国からのPM2.5によって子どもたちの健康がおかされている。それらの環境汚染の悪化によって生き物が減少し、私たちの生活への脅威になってきており、行政・企業・市民それぞれの立場で一刻も早く具体的かつ効果的な解決策の確立と実施が望まれている。

B) 具体的な企画内容を説明してください（時期、場所、参加者、何を行うか、独自性など）

●●県××市の環境汚染（大気・水・土壌）の状況を調査し、地域住民の関心を喚起するために報告会を開催する。また、地元行政には廃棄物不法投棄の抑制施策を、地域の農業関係者には農薬使用削減を呼びかける。外部機関による専門的な調査と、市民でも簡単にできる生き物調査を同時並行で進め、できる限り原因を特定することで、この問題に関する市民の関心喚起をめざす。調査結果は報告書にまとめて、実施期間最終月には報告会を開催。調査報告書と報告会の記録は関係官公庁に提出し、政策への具体的反映を働きかける。

- ・ ××市野外観察クラブ5名による●●県××市の協力圃場での□□□□生息調査15回（4月～10月）
- ・ ●●高校教諭××氏を顧問に加え、調査結果の集計と分析（10月～11月）
- ・ ××市民センター大ホール（200人収容）にて、調査結果報告と、●●大学農学部△△氏の講演会（11/10）
- ・ アンケート結果を反映し、調査結果報告書にまとめて、小冊子500部を作成（2～3月）

- ・ 報告書冊子を配布資料とし、関係官公庁へのロビーイング活動を実施する（3月）

★確認ポイント：企画がどんな成果をめざして、どんな活動を行なうのかわかるように、過不足なく具体的に記述されていますか？

3. 申請金額内訳

応募要項の「助成対象費用」を参照し、費目ごとに各物品などを実際に購入する際の具体的な金額・数量を計上してください。活動全体の予算ではなく、助成金を充当する部分のみを記載してください。

記入例：

費目	内容（具体的な単価・数量など）	予算総額	申請額	自己資金
外注費	レポートデザイン費（レイアウト、グラフ作成含む）	50,000	50,000	0
印刷費	レポート印刷製本費 カラー30p×500部	200,000	150,000	50,000
合計		250,000	200,000	50,000

★確認ポイント：活動に必要な予算が費目ごとに正しく抽出されていますか？ 活動内容をなるべく具体的にイメージして（場所、期間、物品、人員数など）必要な経費を過不足なく計画してください。

★確認ポイント：費目は正しく分類されていますか？ 同じ内容の予算が複数の費目に重複もしくは分散していませんか？（＝「助成対象費用」）

4. 助成金充当について

助成金の用途を記載してください。助成金によって、現在の活動に対しどのような要素が補えたり加味できたりするのか、簡潔に説明してください。

記入例：

助成金の用途について当てはまる項目に印をつけてください（複数選択可）

- 自己資金によって工面していた予算をカバーしたい
- 不足していた物品や活動要素の強化充実に充てたい
- 現在の活動を拡充し、新たな展開を加えたい
- その他（下記に用途を簡単に説明してください）

これまででは年1回の調査報告会のみで活動が完結していましたが、助成金充当によってさらに参加者アンケートを実施し、その結果をまとめた冊子を作成する。この冊子を市内施設に配布することによって、報告会当日に参加できない市民にも問題を知る機会が提供できるため、活動のさらなる広がりが期待できる。また、報告書冊子は関係官公庁に提出、政策への具体的な反映を働きかけるロビーイング活動拡大にもつなげる。

5. 参考情報

当該企画の企画書がすでにある場合には添付してください。現在行なっている活動の状況や、今後の活動の予定がわかる資料を添付してください。団体の資料がウェブ媒体のみの場合には、当該情報を掲載したページのURL（直近の報告書やニュースレターのアーカイブページなど、項目ごと）をお知らせください。